

# 大げやき

第 8 号  
3.10.29  
文:校長

## ●11月のめあて 進んで学習しよう

二年ぶりの「げやきフェスタ」はいかがだったでしょうか。来てくださった方に勇気と感動を与えようと一杯取り組んできた成果は感じられたでしょうか。大勢の人の前で発表するのは、とても緊張します。自分の思いや願いを表現し、見る人に届けようと思いませんか。皆さんの大きな拍手を受けて、満足している子ども達の表情がとても印象的でした。



## 地域の皆さんと折り鶴アート



一日午後一時から、松山公民館で、六年生が夏休み中に児童や保護者に協力して作った折り鶴を不燃性の紙に貼って作品を完成させました。作品の再生の炎の中で、「再生の炎」の学校運営協議会の佐藤先生が下絵を描いてくださいました。佐藤先生は、不死鳥は再生のシンボル、世界中にまん延している新型コロナウイルスを、不死鳥の体から出る炎で浄化し、新たな命を得ながら世界を再生させてほしいとの願いを込めて作られたそうです。松山町行政長会の松原会長や横山公民館長さんからも折り鶴アートの目的や作る手順等の話が聞きました。

## 図書委員会のビブリオバトル



一日(金)の朝の放送で、図書委員会が行った「ビブリオバトル」の本を紹介しました。二冊の本を、全生手に持ち上げてもらいました。

掲載された「学校生活」の健康も願ひに鶴を折って、三羽以上の作品に貼った鶴を、六生は、一羽一羽の折り鶴を、六生は、一羽一羽の地域を、六生は、一羽一羽の仕方の、六生は、一羽一羽の地域の、六生は、一羽一羽の心の、六生は、一羽一羽の感の、六生は、一羽一羽のもしも、六生は、一羽一羽の願ひが、六生は、一羽一羽の公民館で展示しています。

## 十一月は親子で読書を!



今回は、子ども達がよく知っている、「スミイ」VS「きんぎょね」のバトルでした。果たしてその結果は、四十六対九十四で、「きんぎょね」の勝ちでした。

二十七日(水)から二週間は、読書週間です。そこで、松山小では、十一月を「親子読書月間」として見ました。親子で同じ本を読み、感想を話し合ったり、おうちの人が絵本を読み、おうちの人と一緒に読むのも楽しいかもしれません。「家族のお気に入り」をぜひ、見つけてほしいと思います。そして、周りの人に紹介してください。

## 十一月の主な行事予定

- 集金日 一日(月)
- 校内マラソン大会 一日(月)
- 児童集会(ポラソニア活動) 二日(火)
- 児童との教育相談 五日(金)
- 児童との教育相談 八日～十九日
- 修学旅行(六年生) 十日～十一日
- 児童集会(飼育栽培) 二十日(金)
- 職員会議(特別時程) 二十二日(月)
- 鼓笛の日 二十四日(水)

※十日、十一日はお弁当になります。

〈学校ホームページの閲覧を〉  
喜多方市ポータルサイトから、松山小学校のHPが紹介されています。日々更新されています。学校の様子がよくわかりますので、ぜひ閲覧ください。

〈ハンドソープの配付〉  
喜多方市保健課からハンドソープが届きました。本日、持ち帰りますので、ご家庭でウイルス対策にご活用ください。